

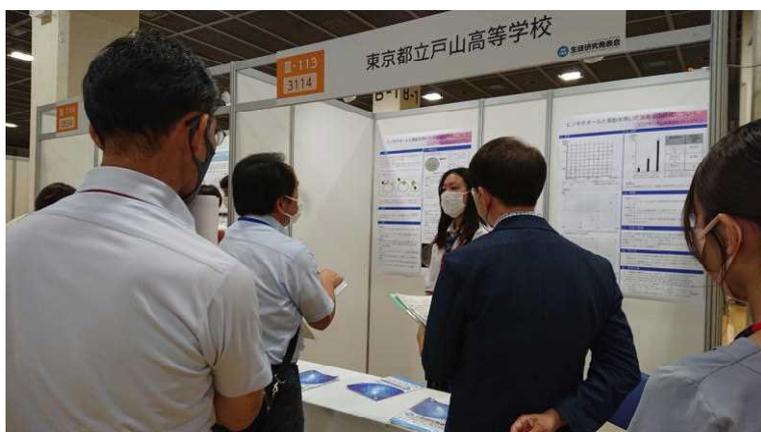
週刊SSH（8月9～10日）

SSH生徒研究発表会参加

8月9、10日の2日間にわたって兵庫県の神戸国際展示場にて理系研究の甲子園とも目される「SSH生徒研究発表会」が行われました。全国のSSH校から約220グループが参加し、これまで打ち込んできた研究を発表しました。

本校からはSSHⅢを履修している3年生1名が参加、3年間の研究の集大成を研究者の方や高校生、高校の先生方に説明して助言をいただいたり、自分の研究に関連のある発表を見に行き行って意見交換をしたりと今後の研究の発展につながるよい機会を得ることができました。

2日目は、初日の発表の審査を受けて選ばれた代表校による全体発表から始まりました。「数学・情報」「物理・工学」「化学」「生物A（主に動物・医学系）」「生物B（植物・農学系）」「地学」の分野から選出された6校による発表は、社会実装を目指したり、身近な現象を観察して論として組み立てて提唱したもの、地域の生態系の保全活動につながる研究、古文書の記述をもとに当時の気象を明らかにしようとしたりするもの等で、どれも非常に高度な内容であり、かつ研究に対する熱意と真摯な姿勢が伝わってくるものでした。代表校以外のどのポスター発表も高校生活で研究活動に注いだ成果が感じられ、刺激を受けると同時に若い力の持つ可能性に希望を感じた2日間でした。



研究者の方からの助言には目を開かされる思いがしたとのこと。

1000名以上を収容する大会場。代表校の発表のみならず、それに対する質疑も非常に高度な内容でした。

